



NEWS LETTER

The Japan Nursing Ethics Association (JNEA)

日本看護倫理学会第12回年次大会のご案内

大会テーマ：「格差社会の中で看護倫理を考える」
 会期：2019年6月8日(土)・9日(日)
 会場：大阪市中央公会堂
 年次大会長：勝原裕美子（オフィスKATSUHARA）



“格差社会”は、2006年（平成18年）の新語・流行語大賞になって以来、各所で使われるようになりました。地域格差、教育格差、健康格差などの用語は当たり前に使われています。看護の仕事は、さまざまな人の生きざまや暮らしに入っていくため、これらの格差を目の当たりにします。だからこそ、援助のプロフェッショナルとして誠実、平等、尊厳の保持などが重要な概念だと教わり、倫理観を大切にしています。

この年次大会では、社会の中には、現実に格差があるということを確認した上で、日々のケアの中で、看護師が格差をどのようにとらえ、何を感じ、考え、実践しているのかを議論します。このような課題に正面から専門職として向き合うことは、看護社会に限らず、実は私たちの社会が今後協働して進んでいくときに認めなければならない戸惑いと、それでも次に進まなければならない強さを確認する上で大切なことだと考えています。

さて、プログラムですが、本テーマに沿った教育講演はもちろん、模擬倫理委員会を開催するライブ、各種倫理課題をどう考えるのかとい

うコーチングライブ、「子ども」「認知症」などのテーマごとのラウンドテーブルディスカッションなど、実践に活かす企画を現在数多く考えております。

メインテーマに関わらず、看護倫理の課題は議論が尽きることがありません。「倫理的である」というのは、自分がよりよく生きること、仕事することに向き合い続けることです。ぜひ、本大会で、倫理に向き合うさまざまな体験を試してみてください。また、臨床現場における様々な倫理的葛藤、ジレンマなどを事例報告としてぜひ紹介してください。それが周囲の人たちへの気づきや洞察につながります。

最後に、会場である大阪市中央公会堂は、国指定重要文化財の建物です。1918年（大正7年）竣工時の様相を残しながら、歴史を刻み現代に大阪のシンボルとして中之島の地にある建物の探索、また水の都ならではの周辺の散策も楽しんでいただけることと思います。

皆さまと、大阪の地でお目にかかれることを楽しみにしております。

第12回年次大会@大阪

重要期日一覧



事前参加登録期間
 (会員・非会員)
 2019.2.1(金)
 ~2019.4.26(金)

演題募集期間
 (口演・示説・交流集会)
 2018.10.15(月)
 ~2019.1.9(水)

最新情報は、
<http://jneal2th.com/>
 をご確認ください。

各委員会の活動報告

編集委員会

新しく編集委員長になりました鶴若麻理です。編集委員は私を含み、勝山貴美子さん(副委員長)、足立智孝さん、小野若菜子さん、田中美恵子さん、寺岡征太郎さん、八尋道子さん、吉田智美さんの8名の体制で活動しております。よろしくお願いいたします。

学会誌第11巻へ、たくさんの方の投稿をありがとうございました。様々な立場の方々から、バラエティに富む論文が投稿され、委員一同、改めて看護倫理について考える機会をいただいております。今後、年次大会等を活用し、会員の皆様と意見交換をし、交流できる機会をもつなど、委員会としても積極的に発信をしていきたいと考えております。投稿に際して、何かご質問やご相談がありますときは、いつでもお問い合わせください。(鶴若麻理)

学術活動推進委員会

学術活動推進委員会は、看護倫理を考慮することができる機会や研修等に役立てていけるように、現在まで活動してきた交流集会や研修会で用いた模擬事例などを総合し工夫して、教材を開発していきたいと考えています。

「看護倫理を考えるための組織的取組みの実際」「身体拘束をめぐる看護師の役割を考える事例集」「生活者としての患者の権利を護る看護師の実践知から考えること」「災害と看護倫理」など、委員会活動してきた内容をもとに、また、新たな内容も検討し、看護倫理を実践の倫理として考察する重要性を提案することで学術推進していきたいと考えています。(北村愛子)

臨床倫理ガイドライン検討委員会

現在、臨床倫理ガイドライン検討委員会では、昨年度に引き続き、身体拘束のあり方について、本学会が作成したマニュアルをもとに、多くの会員の方々と検討を重ね、看護実践に繋げることができるよう、研修企画を行っています。

2年前に九州大学で初回研修会を行い、昨年は愛知県で実施しました。本年度は1月27日(日)、いわて県民情報交流センター(アイーナ)盛岡市で研修を行う予定で準備中です。

間もなく準備が整い次第、皆様にお知らせできると考えています。
 (長谷川美栄子・北村愛子)

日本看護倫理学会第11回年次大会のご報告

2018年5月26日(土)・27日(日)の2日間にわたり、第11回年次大会を日本赤十字看護大学で開催いたしました。801名(事前登録者数374名、当日参加者数427名、内訳/会員288名、非会員467名、学生46名)の方々にご参加いただき、盛況のうちに終えることができましたのは、ひとえに皆様のご協力のおかげと心より感謝しております。「Emancipatory Knowing エマンシパトリーノウイング」という難しいテーマではありましたが、「新しいものの見方、考え方を学べた」「活発な意見交換、素敵な意見を持っている人が多くとても刺激になった」というようなご意見をいただき、安堵しております。今後も年次大会が、倫理的問題に気づきながらも解決の糸口がつかめず苦しむ看護職にとって、閉塞的状況を打破する第1歩となっていくことを願っております。(大会長：高田早苗)



MEDICAL FINDER

学会員特別アクセス権のご案内

本学会のウェブサイト jnea.net では、会員サービスの一環として2013年11月1日よりMedical Finderの提供を行っております。Medical Finderは医学書院が提供する学術論文全文検索サービスで、インターネットに接続できる環境があればいつでも、どこからでも学術誌にアクセスすることができます。Medical Finderでは「日本看護倫理学会誌」をはじめ「日本がん看護学会誌」「日本看護医療学会雑誌」「日本看護科学学会誌」「日本看護診断学会誌(看護診断)」「日本災害看護学会誌」「日本腎不全看護学会誌」「日本糖尿病教育・看護学会誌」「日本母子看護学会誌」「日本老年看護学会誌(老年看護学)」の閲覧、論文PDFのダウンロード、全文検索および申し込検索ができる大変便利なサービスです。このサービスは日本看護倫理学会会員であれば無料で利用できます。研究・教育活動にぜひお役立て下さい。なお、本サービスのご利用にはIDおよびパスワードが必要で、1年ごとに更新されます。2019年用のIDとパスワードは下記になりますのでよろしくお願ひします。

ログインID

パスワード

有効期間 2019年1月1日～12月31日

今年度の学会活動のご報告

第4期役員が理事会メンバーになりました。今年度の学会活動としては、以下の内容を検討・推進して参りたいと思います。

- 第12回年次大会の開催
- 委員会活動の推進
 - 第11巻学会誌の発行(編集)
 - 看護倫理に関する教材作成(学術活動推進)
 - ワークショップの開催(学術活動推進)
 - 学会HPの日本語版の充実と英語版の検討(広報)
- 「政策提言委員会(仮称)」の立ち上げ
- 「臨床倫理ガイドライン検討委員会」の継続
- 法人化の検討
 - 学生入会の整備
 - 名誉会員規定の整備
- 学会活動計画と予算案の検討

新役員のご紹介(括弧内は担当業務)

理事長	八代利香 鹿児島大学学術研究院
副理事長	太田勝正 名古屋大学大学院(広報/日本看護系学会協議会)
理事	足立智孝 亀田医療大学看護学部(会計/編集)
理事	小野美喜 大分県立看護科学大学(政策提言)
理事	勝原裕美子 オフィスKATSUHARA(第12回大会長/政策提言)
理事	北村愛子 大阪府立大学大学院(学術活動推進/臨床倫理GL検討)
理事	鶴若麻理 聖路加国際大学(編集)
理事	山下早苗 静岡県立大学(庶務/日本看護系学会協議会)
監事	青山ヒフミ 甲南女子大学
監事	小西恵美子 鹿児島大学

日本看護倫理学会ニュースレター NO.12

2018年12月1日発行

編集：日本看護倫理学会広報委員会

発行：日本看護倫理学会(JNEA)

<http://jnea.net/>



お問い合わせ・日本看護倫理学会事務局
〒162-0801

東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

電話：03-6824-9378(←新電話番号です)

電子メール：jne-post@bunken.co.jp

※電話番号は2018年11月25日に新電話番号に変更となっております。ご注意ください。